

北海道総合教育大綱
(平成30年4月施行)

「その先の道を切り拓く北海道人」
・北海道に思いを寄せる
・社会で自立し共に支え合う
・未来を切り拓く

学校教育目標

◇最後まで意欲を持ち、集中して学ぶ子
よく考え、熱心に学ぶ子ども(知)
◇美しさ感動し、素直で思いやりのある子
明るく、思いやりのある子ども(情)
◇自分で正しく判断し、実行する子
正しいことを進んでする子ども(意)
◇生命を尊重し、心身ともにたくましく忍耐強い子
健康で、がまん強い子ども(体)

苫小牧市教育大綱
(平成31年4月施行)

「未来の社会をつくるひとづくり」
・一人一人のニーズに応じた
確かな学力をたくむ教育活動の充実
・豊かな人間性と健康な体の育成
・学校・家庭・地域社会が連携した
信頼される学校づくりの推進
・家庭、地域で子どもを育てる
環境づくりの推進
・郷土の良さを生かした潤いのある
生涯学習の推進

【基本理念】

今世紀を支えていく子どもたちの育成
～ワンチーム泉野の強化～

- (1) 学校は、子どものためにある。
- (2) 学校は、子どもの学び場である。
- (3) 学校は、子どもの夢を育む場である。
- (4) 子どもに視点を据えた教育活動を精力的に推進する。
- (5) 学習指導要領の趣旨を生かし、魅力あふれる教育活動を推進する。
- (6) 教育愛と信念・情熱をもって、資質向上を目指した実践活動をする。
- (7) 厳しさの中にも優しさや愛情を持った指導をする。
- (8) 基礎・基本の確実な定着と活用力を育てる授業や学習活動の創意工夫をする。
- (9) 学級・学年・学校に文化の創造を。
- (10) どの子にも居場所のある学校づくりを。

今年度の取組の重点

- (1) 豊かな心で豊かな道徳性を育む教育の充実
- (2) 夢をかなえる学力の向上
- (3) 体力・運動能力の向上を図る
- (4) 校内外での研究・修養参加の推進
- (5) 経営参画意識の高揚と服務規律の保持
- (6) 特別支援教育(通級指導教室)の充実と推進
- (7) 子どもの安心安全な生活を守る危機管理
- (8) 家庭・地域とともにある学校づくりの推進
- (9) 望ましい食習慣の指導と食育の推進

子どもにとって
「子どもが学びたいと思う楽しい学校」
親にとって
「親が学ばせたい信頼できる学校」
教師にとって
「教師の豊かな発想を生かした働きがいのある学校」

15歳の子どもの像～「自己肯定感をもった社会と向き合える生徒」
今年度のキーワード「自己のよさを見つめる」

【めざす「学校像」と「こども像」】

- (1) **明るい学校**
・明るく、友だちや教職員と挨拶ができる子ども
- (2) **学ぶ楽しさのある学校**
・進んで学び、家庭学習にも取り組む子ども
- (3) **落ち着いた学校**
・進んで読書に取り組み、話をしっかり聞くことができる子ども
- (4) **一人一人を大切にできる学校**
・いじめはしない、させない、一人一人のよさを認め合う子ども
- (5) **歌声が響き合う学校**
・歌うことを楽しみ、しっかりと歌いけることができる子ども
- (6) **きれいな学校**
・協力して清掃活動を行い、きれいな環境に心がける子ども
- (7) **時間を大切にする学校**
・学習と遊びのけじめをつけることができる子ども

◆ 具体的取組事項 ◆

1 学ぶ意欲と確かな学力を育む取組
(重点(2)(4)(6))

主体的・対話的で深い学びの実現

- ・単元や1単位時間の終末を明確にした授業の構築
- ・プログラミング教育の推進

目標 児童アンケート「国語・算数の授業がわかる」の回答を67%以上(R1;国語65.9%、算数66.1%)

一人一人に寄り添った学習支援

- ・家庭学習・学習サポートによる補充的学習の充実
- ・通常学級と特別支援学級が連動した個別支援の確立

目標 児童アンケート「進んで家庭学習に取り組んでいる」の回答を65%以上(R1;63.0%)

2 自己肯定感と豊かな心を育む取組
(重点(1))

自他を思う気持ちと社会性の育成

- ・「自分ごと」として考える道徳授業の実践
- ・児童会活動による互いのよさを認め合う取組の充実

目標 児童アンケート「よいところがある」の肯定的回答80%、「自分だったらどうするか考えている」の回答75%以上(R1;79.8、70.6%)

学校で安らげる居場所づくり

- ・読書の楽しさ・魅力の発信
- ・適切な言葉遣いによる温かい雰囲気醸成

目標 児童アンケート「読書することは楽しい」の肯定的回答87%以上、「学校のきまりを守っている」の肯定的回答93%以上(R1;85.7、91.6%)

3 生活習慣と健やかな体を育む取組
(重点(3)(9))

食習慣・生活習慣の改善

- ・「食べること」に関する指導の充実(栄養教諭による授業・給食指導)
- ・「泉野Style」による生活習慣の確立

目標 児童アンケート「毎日、朝ご飯を食べている」の回答を86%以上(R1;85.7%)

体力・運動能力の向上

- ・運動習慣の確立(遊び、体力づくり週間の充実)
- ・体育授業における運動量の確保

目標 新体力テストの「50m走」「シャトルラン」を全国平均以上(R1;5年男女ともに全国平均以上)

4 チーム泉野による信頼される学校づくり
(重点(5)(7)(8))

学校力の向上

- ・人材育成(キャリアに応じたマネジメント力)
- ・教師力(資質・能力)の向上
- ・組織力(校務部・学年)の強化

家庭・地域・近隣学校との連携

- ・学校支援ボランティア本部の充実
- ・学校だより等による積極的な情報発信
- ・学校教育力向上エリア会議の機能化

目標 保護者アンケート「学校の取組や子供の様子を伝えている」の回答を70%以上、「保護者や児童の相談に素早く対応している」の回答を60%以上(R1;69.0、56.9%)